

セレンディピティ

〜幸福な偶然〜

大山口診療所

久野淑枝

先日、ノーベル化学賞受賞者の白川英樹先生のお話を聞く機会がありました。そこでは『セレンディピティ』という言葉が、科学的な大発見をより身近なものとして説明するために引用されていました。

セレンディピティとは、英国の作家ホーレンス・ウォルポールによる「セレンディップの三人の王子」という古いおとぎ話の題名からの造語です。人生には「幸福な偶然」があります。これを見逃さずに、しっかりとつかまえる能力のことをこういいます。セレンディピティが成立するためには、ある事柄をずっと探し求めることが大切で、元々そこにあつたかもしれないものを意識することによって見えてくる、ということのようです。

脳学者の茂木健一郎先生によるとセレンディピティが起こる原因は、脳内に情報を受け入れる「鑄型」のようなものが形成され、その「鑄型」にぴったり収ま

るものと偶然出会ったときに即座にその重要性に反応し、いわゆるヒラメキが発生するそうです。もし、セレンディピティによる意識のアンテナを張っていないければ、重要な事象と出会っても、気づかずにチャンス逃してしまふ確率が高くなってしまふのです。運命は単なる偶然ではなく、平生からの準備の賜物というわけです。

自然科学の発見ならずとも、これは人の生き方の指針としてとらえてもいいかと思えます。失敗しても、そこから見落としせずに学び取ることができれば成功に結びつくという考え方です。

人生には失敗や挫折がつきものです。それは「不幸なこと」として簡単に決めて終わるものではなく、必ずその傍らに成功や克服の片鱗が存在しており、気づきさえすれば幸せは、いつでも手の届くところにあるという見立てです。

明るい話題の少ないこのごろですが、いつまでも自分のサクセスストーリーを探し求める心のあり方は、とても大切なことではないかと思えます。みなさんは、どう思われますか？

福祉介護課から
お知らせ

徘徊高齢者等探索システム加入費用を助成します！

認知症の高齢者など、行方がわからなくなった場合に、介護者へ不明者の位置情報を知らせるための探索システムに加入する費用の一部を助成します。

対象者

- ・認知症により徘徊症状のある65歳以上の方（40歳以上の初老期認知症の方を含む）
 - ・知的障がいなどにより、所在が不明となるおそれのある方
- ※ 入所または入院している方は対象になりません。

助成額

- 利用加入費用（加入料及び付属品：7,350円〜）の1/2を助成
- ※ 助成上限額を3,675円とします。
 - ※ 月額利用料などには助成はありません。

申請方法

所定の申請書に記入・押印のうえ、町指定の探索サービスを提供している事業者との契約書の写し及び領収書の写しを添えて、福祉介護課または各支所総合窓口課まで申請してください。

探索システムとは…

徘徊高齢者などの所在が不明となった場合に、介護者の依頼を受けて（またはインターネットの専用ホームページに接続して）徘徊高齢者等の所在地を探索し、介護者に位置情報を提供するシステムです。

◆問い合わせ先 福祉介護課 ☎0859-54-5207